

☆私の意見

ユニバーシアードは チームワークで成功を

山本 治郎
△神戸市教育長



成熟社会とは、昔のように少数のすぐれた人が世の中を引っぱっていく時代ではなく、特に教育、学校、社会問題などにおいては、いかに優秀な人でも、一人の力では何もできません。私の好きな言葉のひとつに、ロバート・オウエンの「一人の百歩より百人の一步」というのがあります。まさにこれで、一人の人間が大きく踏みだすのではなく、人々の動きが拡散していることが現代でしょう。だから平凡な人間が平凡なりに着実に連係して一つの目的に進むことが必要です。

昭和六〇年に開かれる予定のユニバーシアード神戸大会は、今、組織が発足したばかりで、これからどんどん具体的に取り組んでいくわけですが、そのスケジュールは、競技施設を開催一年前に完成させることです。開会式、閉会式を行なう神戸総合運動公園(旧西神運動公園)が一番大きな運動施設です。その西隣に、研究学園都市の施設として考へてある住宅を早めに建設してもらって選手や役員、約五千人を収容できる選手村として活用します。また移転を計画している神戸外大も六〇年までに完了するようにすめており、その施設も利用する計画です。それに屋内体育館としては、ポートアイランドのスポーツセンターの北隣に建設するワールド記念体育館を使用します。

このユニバーシアード神戸大会は、国際都市としての神戸での、国際的スケールの行事で、神戸ポートアイランド博覧会に次いでものです。ポートピア'81で、そのあたりのノウハウは蓄積していますから、このユニバーシアードでは、そのうちのソフト面の蓄積を特に生かしていくことになるでしょう。スケールとしてはポートピア'81の一割くらいのものかもしれません。ソフト面はポートピア'81に匹敵するもので、国際的接触としてもポートピア'81以上のものとなり、質も違うものです。この蓄積の活用は「一人の百歩より百人の一步」のチームワークによって効果がでるもので、ユニバーシアード神戸大会を成功に導くものとなるでしょう。

(談)

Pyramid Cake



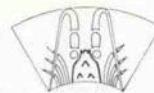
ピラミッドケーキ

¥1,000・1,500

冷たいお飲みものとご一緒に
お召し上がり下さい

北欧の銘菓
ユーハイム・コンフェクト

■本社・工場・熊内店 神戸市中央区熊内町18(南国美術館東隣)TEL221-1164



オリエンタルホテル直営

白扇

一品料理 3,500円

- 伊勢海老サラダ添(一尾)
- 伊勢海老トマト煮アメリカ風(一尾)
- 伊勢海老黄金焼(一尾)
- 伊勢海老雲丹焼(一尾)
- 伊勢海老鬼瓦焼(一尾)
- 伊勢海老塩焼(一尾)
- 伊勢海老酢醤油(一尾)

御定食 3,900円

- 伊勢海老サラダ定食
- 伊勢海老黄金焼定食
- 伊勢海老バター焼定食
- パン又は御飯、スープ又は吸物、果物、コーヒーがつきます。

その他、おすすめ昼食 1,700円

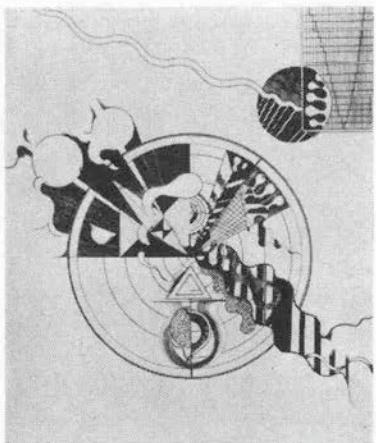
- 伊勢海老フライ定食
- 伊勢海老バター焼定食

お値段は税別です。

オリエンタルホテル

神戸市中央区京町25 ☎ (078) 331-8111

隨想



カット松谷武判／アトリエー17で制作した版画・ビュラン

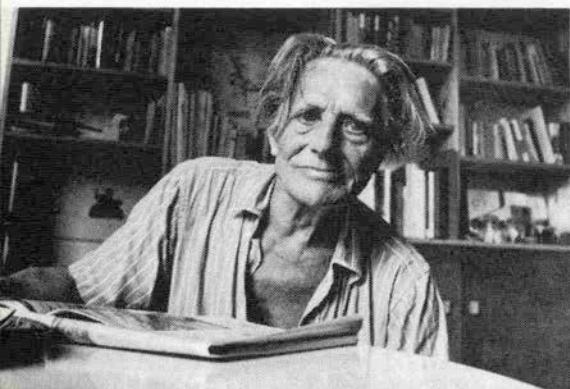
世界のヘイターと アトリエー17

松谷 武判

（画家・版画家在パリ）

スタンリー・ウイリアム・ヘイター。此の處頻繁に出てくる英國とアルゼンチン紛争、その英國が大英帝国として正に世界に君臨していた頃、彼は生まれている。いま八十二歳である。アトリエに出向く日以外は水泳、テニスをかかさず、奥さんは若くて、背の高いアイルランド美人で詩をつくる。へ

イタリーやウイリアム・ヘイターといつても画家以外の人には馴じみの少ない名前であるが彼は現代作家の中では大版画家、そして大画家でもある。ロンドンの東部ハクニイに一九〇一年に生まれ、父も職業画家。キングス・カレッジで有機化学を学び若い頃はイランに赴いて、アンゴロ・イラニアン会社に勤務。しかし、絵画に興味を持った彼は、一九二六年に会社を辞して巴里に出てやがて「アトリエー17」と呼ぶ版画工房を創設した。現代版画運動を起した人で、シュールアリズム運動の一員としても活躍。その頃は版画の発芽期であり、古い職人技法から実験版画技術に脱皮しようヘイターの工房には、ピカソ、ミロ、エルンスト等の作家が実験



S.W.ヘイター

版画にみせられて参加、恵まれたベース（空間）についての理論を生み出して行った。

この理論を端的にいえば、物理学上、法則に証明された渦巻き、引力、そして数学で割り出されるアングル（角度）を基本形態として、一次元から四次元をも交錯させた彼独自の空間（版画）を創り出したもので、基本線（下地）に刷り込まれたインタリヨウ（凹面に摺り込む第一の色）を基調色とし、数本の柔らかさが異なるローラーで計算された色を同時に版の上にかけることによって、今まで沈黙を保っていた二次元、三次元の脈脈は規則正しく、また不規則に流動し、或る時は旋風が生じた如く激しく曲流し、交差し、均衡

の中に動的な視点は他の次元の深い空間を生み出して行く。

この一版多色刷りと呼ばれる技法は世界に認められ、一時ニューヨークに有った工房にボロックも参加。巴里では、実験工房を慕つてジャコメッティ、アルプ、カルダーニ、も師事し、日本人では初めての人、岡本太郎も一時期いた。

「アトリエー17」とは、最初に見つけたアトリエが、十四区の17番地、カンパニユ・ブルメエール通りであつたことから名付けられた。

一九六六年、まだ北回りが開設されて間もない頃巴里に行つた私は、77番地、ルユ・ダゲールに移転していたアトリエー17の門を叩いた。すでに、長谷川彰一、矢柳剛、マダム・アキさん達が世界各国からやつて來た作家連中に混じつて版を刻んでいる姿には少なからず鬱憤をかき立てられた。

今回、アトリエー17出身の神野立生さんの協力で在仏日本人作家及び、帰国組に呼び掛け「グループー17」と名づけ、ヘイター先生に贊助出品を願い四十名におよぶ出品を得て、大阪府現代美術センターで第一回展を開催するに至つたのである。なお、東京のブレン・トラスト社から多大な援助を頂いたことをこの紙面をお借りして一同御礼申し上げます。

西神戸吹奏楽団 中国へ！

岡本 郁

（西神戸吹奏楽団團長）

吹奏楽団結成五周年を迎えて記念として、昭和五十七年三月二十九日～四月五日までの八日間、念願の中国友好演奏旅行を実現致しました。

団員三十八名と随行者二名計四十名は各都市での熱烈な歓迎を受け最高の演奏旅行でした。

北京では紅塔礼堂での公演、中央音楽院との公演交流、北京人民政府表敬、中華青年連合会の歓迎の宴、天津公演は科学会館、天津市長表敬、天津音楽院との交流、天津青年連合会主催歓迎の宴、鞍山道小学校訪問公演、西神戸吹奏樂團主催答礼の宴、上海では上海音楽院との交流は黄浦江遊覧船上

で行い、少年宮訪問公演、その他各都市見学とハードスケジュールでしたが熱烈歓迎を受け感激一杯でした。

私共中国の音楽について色々とおききして参りましたが各都市の音楽院の方々の熱心さと、実深い努力家である事、レベルの高いことにびっくり致しました。

音楽院の方々の演奏の民族楽器の中には初めて見る楽器もありもち方、弾き方、吹き方、など団員それぞれ教えてもらつてなごやかな交流を致しました。

中国演奏旅行を再度致す事を音楽院の皆様に約束を致しまして再会をたのしみに心の通じた交流でした。

私共神戸で生れた市民バンドが日中友好演奏旅行が出来、又神戸市と天津市と姉妹都市である事や中国人民の方々の暖い心に数年前からの知人であるような親しみを



上 北京・人民政府に表敬訪問／左から3人目が筆者 下 天津市の小学校における野外コンサート

感じさせられました。吹奏楽を通してますます日中友好を深めて行きたいと思っております。

兵庫県坂井忠知事、神戸市宮崎辰雄市長の暖いメッセージを頂き、多くの方々のご支援と共に中華全国青年連合会の身にあるご協力をえまして最高の演奏旅行を行いました。

「たかが服」を愛す

近衛 行磨

（フリーデザイナー
神戸ハイファッショングランプリ受賞者）



9年間余りの企業デザイナー生活に別れを告げ、もう一度フリーになつて自分自身のことや服作りについても考え直してみることになつた。この3月、京都上賀茂のスタジオに身を置くことになつた

企業のあわただしい人と人とのかわり、マス商品としての割り切れない服作り、時間に追われた日々、それは自分に一休何を与えるかを忘れるために思い続けてきた。生まれた家が呉服を商い、母

はきもの教室をしていたことから小さいところから若い女性の中でも形の服を縫つたりするのが好きだった。ある意味では家業のキモノは自分をしばつているもの、かかわりたくないかった存在でもあったけれども、生まれ育った神戸から古都、伝統の町京都での新しい生活は忘れていたものをいくらかずつ思い出させてくれたようだ。

82コウベファッショングランプリ受賞の、そのような情況の中で、服作りを通して自分を考える機会を与えてくれた。古い着物を集めることから始めて、数えてみると12種類の着物地を使つたことになる。コート地、帯地などずい分ぜいたくに生地を思い切つて使つたものだと思う。黒・茶・紺のしぶい色の中に伝統的な紋柄や花鳥のジャカード、そして目

を洗われるようなあざやかな朱赤やピンク、バイオレットなどの配色。

ショーディーで見るだけではなく寄つて手にとつてつくづくながめてもえればもっと味わつてもらえる服だ。ガーゼのように服に愛着を持ち、その反面、たかが服ではないかと何かを忘れるために思い続けてきた。生まれた家が呉服を商い、母

はきもの教室をしていたことから小さいところから若い女性の中でも形の服を縫つたりするのが好きだった。ある意味では家業のキモノは自分をしばつているもの、かかわりたくないかった存在でもあったけれども、生まれ育った神戸から古都、伝統の町京都での新しい生活は忘れていたものをいくらかずつ思い出させてくれたようだ。

最初はすべて手縫いで仕上げてしまわないと気のすまない僕は、最初はすべて手縫いで仕上げたい気持だったのだが、時間的にムリ、ミシン縫いで仕上げてしまつたのが少し心残りがある。ファッションコンテストといえば、どうしても着れないものでよくみんなに変つたことを考へられるなあと思うものになりがちだが、僕の服は、四点組み合わせることによってショーリー的な効果もあり、単品として他の服と組み合せることによって、日常のロマンティックな場所では着て楽しめるようになつてある。コンテストには批判もあるが、参加する



近衛さんの作品

からは、ひとつの試みが必要に思う。神戸らしいさという点で審査の時に問題があつたらしい。神戸は自分の大切な生まれ育つた町、ファッションについても、もっとスタイルの大きい「らしさ」というものを求めるために、ひとり僕は旅をしてみてもいいと思う。

海辺のコンチエルト

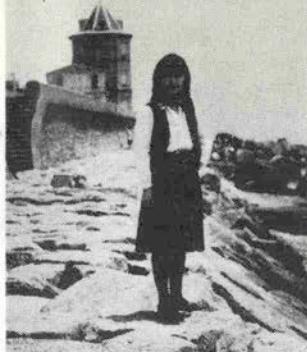
随筆家 吉村由美

海は青い光にみたされていた。

白い渚にくりかえし織りなす、深いマリンブルーのレースのように波はうちよせ、想いの中を流れ、はるかな水平線のかなたまで、青い映像を引きつれてゆく。あの渚の向うに、白い船体が浮かぶ。どこからともなく現れて来た、浪漫的な幻想と憧れの、そして希いの象徴であるかのごとに。潮風の香りと、あまりに激しい海の光り、きらきらと輝きゆれる青さ。静けさと激しさを、まるで日々の姿に秘めて生きる時のように、白い渚を纏ひなす青いレースの糸は、まるで海神ネーラウスの、姿、容貌の優れて美しい娘たちの、青い衣を波だたせていくのである。うか。

海の神ネーラウスの五十人ばかりいる娘たちは、その美しい姿と魅力ある名で、海の青さをきらめかせる。キューモトエは波の速

移情閣をバックに



さを、グラウケーは海の青い輝きを、バラ色の腕をしたエウニーケはよい勝利を、その青い衣のはためきとともに告げるのだ。そして私の最も好きな、ミルクのように白い肌を持つ、優雅なガラティア。單眼鬼ボリューモスは、その恋心をセレネードにたくして歌うけれど、青年アーキスが、ガラティアといつも楽しげに語りあつてゐる。ボリュベーモスが投げた岩はアーキスの体にふれ、青年の血の色はやがて清らかな流れとなり、若葦の冠をつけた、凜々しく美しい川の神アーキスの姿が浮かび上がるという。ガラティアにまつわるギリシャ神話は、ロマンティックな永遠の想いを語り、今もなお、あの青い輝きのかなた、どこかの岩礁のかけに、ガラティアの白い姿があり、川の神アーキスが、彼女を守るかのような幻想を私に描かせる。

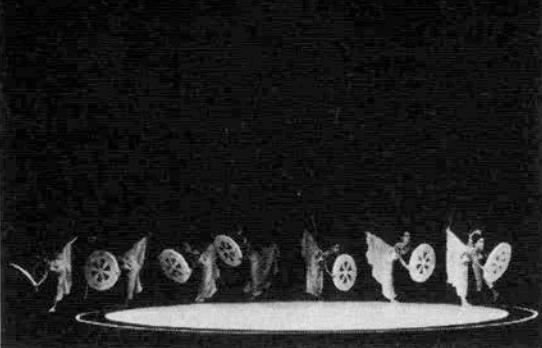
澄明な青い光彩は、夏の日がもたらす、清烈な情念であろうか。舞子から須磨の海辺へ、海岸に面した異人館のよろい扉を朽ちさせ、海風の激しさ。山麓の街で感じる、樹々をわたるそよ風の、さりげないやさしさとは異質な、激しく青い光彩を持つ海からの風。大胆なきらめきは風とともに広が

心は浸たされ覆われてゆく。山麓の樹々のさやめきは絵画的だが、海辺の青い光彩は、心に音楽的な旋律を奏でさせる。たとえばラフマニノフのピアノ協奏曲二番、第一樂章のダイナミックで華麗な、情感の鮮烈さを、第二樂章の沈静した愁いを、あの青い光彩の中で聞くのだ。その旋律が持つ水晶の音のかなたに、海辺のコンチエルトを奏でつづけるのである。

ラフマニノフといえば、やはりワイセンベルクのピアノが優れていい。甘さに流れず、通俗的な抒情にとらわれることなく、脈脈な同質性と、知的な共感と激情のバランスの中で、その音楽的世界を見事に描き出してゆく。ピアニストとしての卓抜した技量は、鋭利な音色の美しさと、水晶のきらめきに似た、硬質の鮮烈さでみたすのだ。それは私自身の、内なる青い光彩の映像であるかのよう、海辺のコンチエルトが奏でる、鮮烈なバトスと憂愁の想いを秘めた、わが心の旋律もある。

今岡頌子舞踊団

今岡 頌子（今岡頌子舞踊団主宰）



7年前に公演された“無名源氏”的舞台

昭和35年に、今岡頌子舞踊研究所在が発足した時から、『何か』個性ある作品創りを、と目指して、発表会や合同公演などの舞台でいくつかの創作を重ねてのち、昭和47年5月、舞踊団として公演活動に入つたのですが、また、あつとう間に時が過ぎてしまいまし。この間、小さい作品から大作まで数えきれない作品を創り、よっこここまで続けてこられたことと我ながら不思議に思えてくるのですが……。

これは全く“よい出会い”の積み重ねによってこそ、今日があるのです。22年前第1回発表会で、この間手実・網中秀雄と一緒に研究室の発表会でここ何年か構成振付を担当している加藤きよ子が作品創りの幅を広げ、そこで若い仲間（佐名手実・神戸室内合奏団の素晴らしい生演奏で、日頃の訓練の動きを中心に創ったヴィヴァルディの“四季”他の舞台、そして独創された舞踊“無名源氏”。舞踊団の方向がこの二つにあるように思えます。それに舞踊には欠かすことの出来ない“音楽”、篠笛の藤舎推峰師と出会つたことで、日本を素材とした創作にぐっと厚みが増してきました。他にも創る作品ごとに協力を願い、心よく参加頂いたり、お世話になつたいろんな方々、ゲストとして出演いただいた方……。舞台の裏で支えて下

「赤いローソクと人魚」を創つた際の、岡田美代（作・演出）・板矢真紀（美術）のお二人は現在も強力なスタッフでお世話をなっています。その後、照明（林恵介）・衣裳（藤本ハルミ）・美術（前田哲彦）・音楽と宣伝美術（小泉美喜子）などなどの素晴らしい協力者の方々に恵まれ、とりわけ最初の舞踊団公演から構成・振付をお願いした庄司裕先生の影響は大きく、公演とは別に毎年9月に開く研究所の発表会でここ何年か構

まだなじみがないころでした。今年、神戸室内合奏団の素晴らしい生演奏で、日頃の訓練の動き

で創作される舞台であるため、台に動きを創り出した第1回の公演……。（その人、その人によって創作される舞台であるため、その方向が定まつていないので、モダンダンス”という言葉にも

6月17日の公演に続いて8月28日東京国立小劇場で、田辺聖子先生監修の“無名源氏”を上演します

運んで観て下さったお客様など。本当に人・人・人の出会いです。こんなにもよい人に出会えたことが何よりの幸せです。さる照明や道具さん、会場へ足を運んで観て下さったお客様など。

今年は舞踊団になって10年目、

住友銀行ビル6F 391-11518

詩心象

詩・安水 稔和
画・石阪 春生

おまえ

ふりみ

ふらすみ

つちのみち

はむれから

ひのあめが

わらうこが

はしりきり

そのまんま

かえらない

そんなきが

ふりみ

ふらすみ

いしのみち

くるまゆく

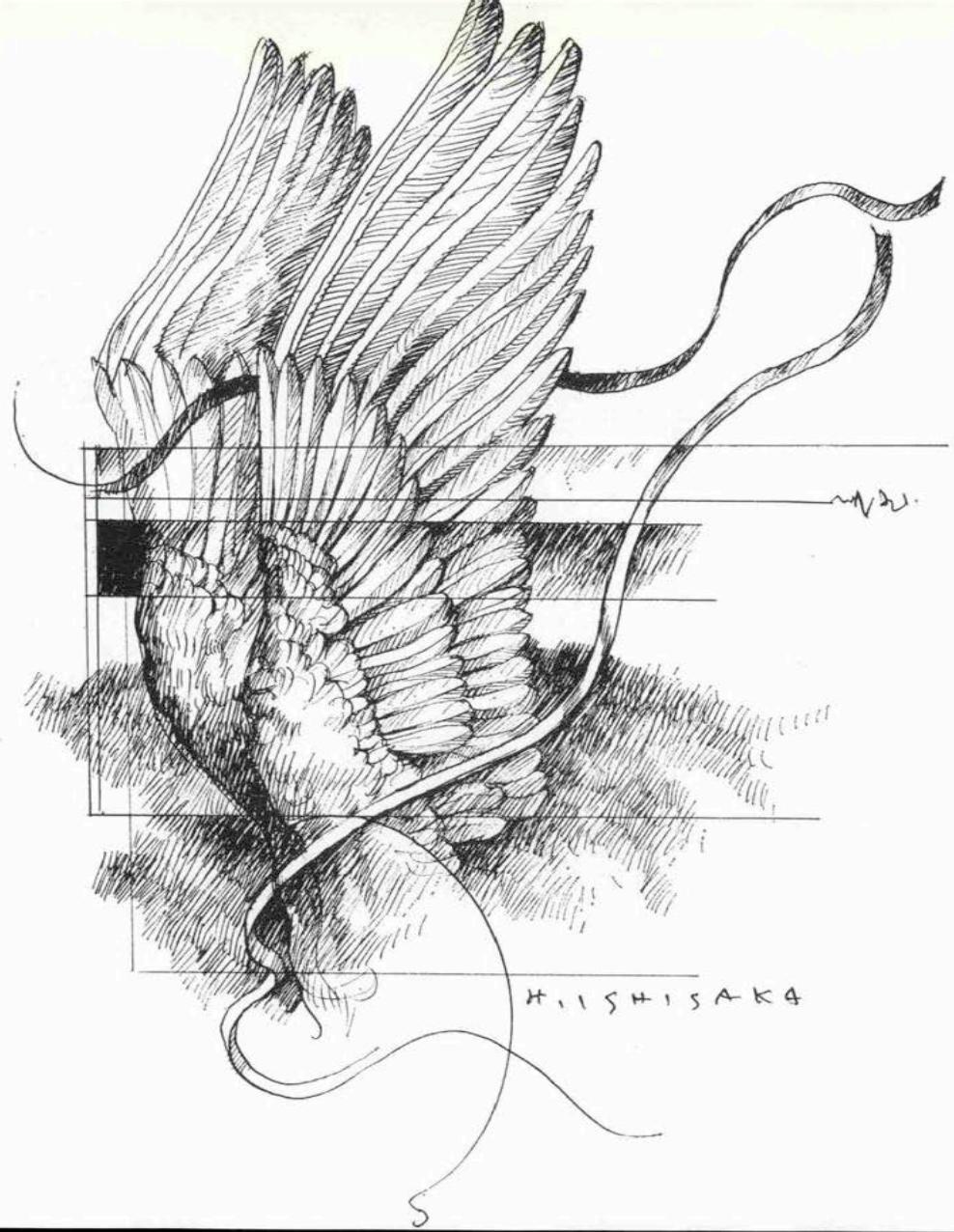
まちなかに

かげのよう

ちいさなめ

みたような

そんなきが



ガッコのセンセと

三枝和子
え・元永 定正 作家

大不得意、あとで後悔、の講演を、またもやつてしまつた。だいたい、この講演というのは知人を介して依頼される。知人の頼みに徹底的に弱い性格なので、断ることができない。分つていながら、あとで後悔、の繰り返しである。

特に今度は大阪の府立高校の国語科の先生たちの研修会という、空恐しいものであつたが、大学時代の友人の頼みである。仕方ない。出掛けいつた。

どうもこの教育の場というのが苦手である。自分も二十年くらい前まではガッコのセンセをやつていた。それも九年もやつていた。それで痛感したことだが、この教育というのは、何とも腹の立つ仕事である。情熱と立腹とが表裏の関係にあつて、やってられない仕事である。テレビの金八先生だか仙八先生だか眺めて、あんな先生が学校にいたらなあ、と口走る中学生に、あんなふうで勉強なんかできるか、と怒鳴りつけたり、いやいや勉強はジユクでするのでガッコでは、あんなふうにして教育されることを愉しむために通つて来るのか、とまたもかつとして怒鳴りつけたくなれる、そんな仕事、なのである。

講演の話だった。もつとも今度は府立高校の先生方相手と怖いけれど研修会なので講演の時間を

短く、質問を長くして下さい、なんてことは頼める。

しかしそれも裏目に出た。こつちの真意は講演が下手だから、なのだが、司会のひとが、「講師先生は質問はどしどし受けつけて下さるそうですから、この際……」などとやられると、意図がまた別の方向へ行つてしまつたようで、いよいよやりきれない。

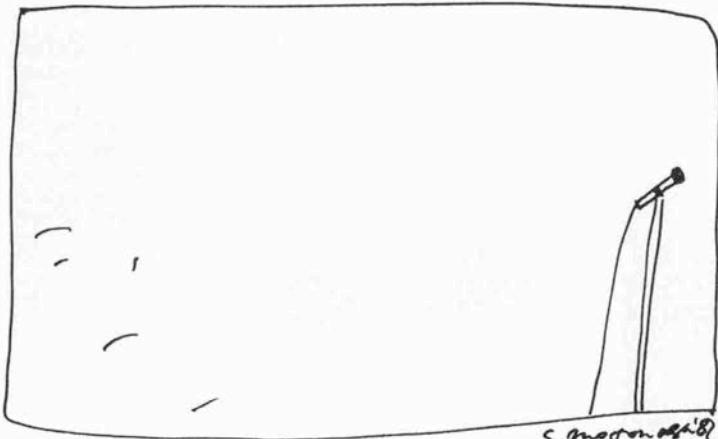
でも、何となく終つた。講演の方は例によつて下手だつたけれど、質問が面白く、私自身にとつて有意義であつた。講演料もらって、私自身にとつて有意義であつたもないでしょと思われるむきもあるうけれど、小説家というのは、だいたい好きなこと書いてお金いだく仕事なので、そのへんの仕組は、いつもこんな工合である。

で、面白い質問というのは集約すると、今日の高校生は考える能力が低下して作文など書かすと流行語の羅列になるだけだと、文学作品など味わう気持なんかまるでない、どうしたらよかろうかという、質問というよりボヤキなのだが、それに対しても、こつちは責任がないので言いたい放題を言ってやつた。つまり、質問が面白いのではなく、言いたい放題言つてやつたことが面白かったのだが、そこは小説家だからお許し願いたい、と

いうわけだ。

私は、何も彼も過保護のせいにしてやった。考
える能力がない？

当たり前です。たとえば例の紙
おむつ——営業妨害になるから名前を挙げないけ
れど、あれに象徴される教育形態が、今日の日本
の現状である。赤ちゃんはお尻の不快感によつて
不満を感じ、お母さんに訴える。人間の子供が生
まれて最初に発する要求、訴えの大変な行為の、
少くとも半分は、あの製品によつて失われてしま
うことになる。脳ミソののっぺりしたバカ人間が
出来るのは目に見えている。少し長じては、要求



S. moronaga

以前に次々と要求がかなえられる。人間の頭は受
験などという、何とも得体の知れない訓練はする
けれど、一番大事な、如何にして生きていくかを
考える方向には、その基礎からして動き出さない
わけだ。

文学作品の鑑賞？ とんでもない。

幼いときから、ダダをこねさえすれば、たいて
いのものは買つてもらえる。お母さんはいつもペ
つたり側にくつづいている。要求の入れられない
ときは理由をちゃんと説明してくれる。注意は、
納得のいく形で懇切丁寧に親と子の話し合いでな
される。昔の子供が、忙しい親に叱り飛ばされ、
その原因が自分にはいかにも理不尽に思えて、一
人淋しく夕焼雲なんか眺めて泣いていたりした、
そんな経験を持つて育つ子はほとんどない。文学
の大切な原点が、幼いときからすでに摘みとられ
てしまっているのである。

いまさらそんな状況を、高校の先生が改革しよ
うとしたって、どだい無理な話である。せいぜい
マンガ本に読みふけって、がいと笑つて暮すし
か能のない連中を、冷たい目で眺めているより他
に方法はあるまい。このことに關する教育熱心と
は、できるだけ軽蔑をこめて彼らを眺めるに終始
することである。すると、多數のなかから、この
軽蔑のマナザシに気付いて、かつと腹を立てる生
徒が何人か出て来る。極く少数であろうけれども、
お笑いになつた。あまりに役に立たない答をして
しまつて、これも後悔のタネである。



創業明治十六年
金 柴田音吉洋服店

神戸・元町4丁目南 TEL(078)341-0693
大阪・高麗橋2丁目 TEL(06) 231-2106



Juchheim's
Der große und kleine Eiscafékönig
Naha, Frankfurt am Main
Seit 1922

フルーティなデザート
冷た~い、ユーハイムの缶デザート。

果汁、果肉をふんだんに使い、
フレッシュな風味をそのままパックしました。
もぎたてのフルーツの香りが
気分をリフレッシュします。

△ ユーハイム

△その36▽

新装なつた日本民芸館

村上 喜彦△兵庫県民芸協会理事▽

私が民芸館なり美術館を紹介するとなると、やはり私自身が民芸協会員（兵庫県）であって、十八年前に東京から神戸に移り住む以前より民芸品に最も関心を持ち、私自身の美意識そのものを民芸の美に標準を当てる心情に終始するので、この六月六日に修築完成工事が完成、オープニングされた東京駒場にある日本民芸館をまずは紹介せざるを得ません。民芸の父とも慕われる故柳宗悦師の育てた、この日本民芸館は、只今は三代目の館長として柳宗理氏が時期的にも大変な重責にあたられており、私達民芸運動に励む者たちの本拠地を健やかに守って下さっております。

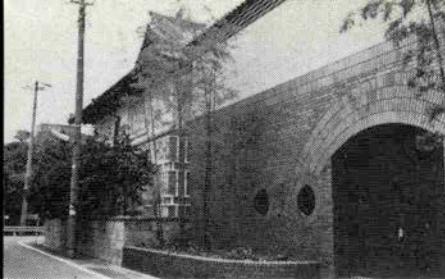
昭和十一年に設立された日本民芸館は素材を大谷石や関東特有の建築材で造営された、

まことに美しい建物ですが、半世紀という長い歳月はやはり建物の老朽を招き又地震の恐れも加わり、改築の余儀なしを迫られたのです。しかしかえってこの事が日本民芸館の次の時代への命脈と立派な過去の伝統民芸の継承を二歩三歩と進め、新しく正しく生れてゆく民芸（品）とのバトンタッチを果す最高の展示館として出発できる機会が得られたのです。そのため昨年から始められた日本民芸館50周年記念事業募金運動による資金によって、このたびの修改増築による良き機能をもつた新旧合体の民芸館に発展することが出来たのです。

それにして新旧合体の民芸館の建物は見事な出来栄えで新は旧を侵さず、旧は又新をひきたてるY氏の心した設計が大変に気に入りました。民芸即売コーナーも設けられ訪ねる人の楽しみが加わり思われました。

神戸から新幹線で三時間余り、駒場まで数十分の乗りつきで日本民芸館を訪ねることが出来ます。神戸や近在にも美術館らしきものは結構たくさんありますが、平和な人間生活に最も大切な密着した用即美を伝達し、モノの尊さを示してくれる日本民芸館にぜひお出かけください。

門柱に人間国宝芹澤鉢介先生（デザイナ）文字による櫻の大看板が目に付きます。次にどつしりした大谷石を蔵壁とした建物が目の前、玉砂利を経て玄関に導いてくれます。中はすぐ二階までの吹抜けで左右正面即展示品に囲まれます。展示



神戸夏まつり



ポートアイランド

★神戸ポートピアランド・ストー
キーサウンドコンテスト

・日時／8月7日（予選）4PM～6PM、
8月15日（グランプリ大会）3PM～7PM
・会場／神戸ポートピアランド水上ステージ
・入園料800円・問い合わせ／神戸ポートビ
アンド☎ 302-2820

予選を通過した12のアマチュア
バンドがグランプリ大会へ進む。
公開審査の後、増田俊郎 with BL
UEを招いてコンサートが行なわ
れる。

★その他の催し／宇崎竜童・子供ばんど出演
による「ミサマーロックカーニバル」（8月
14日5PM）、「ストーキーディスクコンス
ト」（8月21・22日7PM、飛び入りも大歓
迎）、「サンシャインゲームズデイ」（8月1
日12PM、1・30PM、3PMの3回）渋谷
哲平、浅野ゆう子をゲストに迎えてラジオ大
阪公開録音（8月20日正午）など楽しいイ
ベントが盛りだくさん。営業は9月5日まで

10AM～7PM。



大西俊一／㈱神戸ポートピアラ
ンド営業部長



第1回ストーキーサウンドコンテスト

昔懐しい縁日風景がB1F全フ
ロアを会場に再現されるスケール
の大きな夏まつり。「風踊り」と
神戸つ子サンバチームの競演、生
演奏が聞けるビヤハウスマート
リオ十鍋島直視、滝えり子のジャ
ズが流れるジャズ・バー、芸夢
島、おばけ屋敷など多彩に繰り広
げられる。家族揃って楽しめる。

★サンババー

・日時／8月6日5PM・会場／ポートタ
ンクナル大ホール・料金2,000円・問い合わせ
／月刊神戸つ子編集部☎ 330-1-2246

神戸つ子サンバチームとともに
真夏の一夜をフィーバー。軽食、
飲み物付。



★北野国際祭り

・日時／8月14・15日1PM～9PM・会場
／神戸ポートピアホテルB1宴会場・料金／
3,000円・問い合わせ／神戸ポートピアホテル
☎ 302-2820

今年の夏、神戸の街はお
もしろい。各地区が特色を
生かした催しを考え、色々
なイベントが目白押しだ。
これを見のがす手はない。
神戸の夏を心ゆくまで楽し
もう。KOBEドラマティ
ックサマー！ 各地のイベ
ントを御紹介しよう。

/ 北野天満宮境内・問い合わせ／北野インター
ナショナルフェスティバル実行委員会 ☎ 22
2-2468

祭

5月に発足した

K A M (Kita
no Associ
ate March
ants) 北野商

業連合) 協催により北野インター
ナショナルフェスティバル実行委
員会の若手メンバーが楽しい催物
をたくさん企画。J・グラッゲさ
んもジエネラルプロデューサーと
して参考し、民族舞踊やモダンダ
ンス等ステージの内容も充実、子
供向けには外人によるゲームコ
ナーや、身障者によるバザール、
インド料理、ギリシャコーヒーなど
手づくりの祭りが期待できる。
夕涼みがてら、ぶらっとファミリ
ーで立ち寄ってみては? 参加することに意義あり。



国際祭の女みこし

★インド祭
・日時／8月1日 10 AM ~ 5 PM・会場／イ
ンドクラブ・問い合わせ／北野インター・ナショ
ナルフェスティバル実行委員会 ☎ 222-10
182

誰でも自由にインドムードを満
喫できます。インドフードフェア
やインドダンス、サリーのファ
ッションショーや着付講習など興
味深いプログラムが組まれている
エキゾチックなインド美人にめぐ
り逢えるかも……

★バズティスト教会での外人演奏
家による室内楽のタバ

・日時／8月6日 7 PM ~ 7:30 PM 7-40
PM 8-10 PM, 8-20 PM ~ 8:50 PM
・会場／北野バズティスト教会・料金／50
0円・問い合わせ／北野インター・ナショナルフェ
スティバル実行委員会 ☎ 0797-231
2-655 1回毎の定員／130名

ジョン・ラーセン氏ら5名によ
る楽団でベートーヴェン等クラシ
ック音楽を演奏する。

★外人と記念撮影

・日時／8月1、7、8日 11 AM ~ 2 PM
・会場／北野町界隈・問い合わせ／北野インター
ナショナルフェスティバル実行委員会 ☎ 22
2-1482

青い瞳と揃れる金髪のチャーミ
ングな外人と一緒に記念撮影はい
かが? もちろん無料。

△夏の演出者②③④▽

植木 督 ▲神戸コレクション

「今年はK A Mとい
う北野町の商業連合
が発足し、祭りにも
まとまりがあると思う。昨年に続
いて2年目だが、毎年続けられて
いくような地元の祭りにしたい」

実方 克幸

「北野インター・ナショナル実行委員会委員長」

住民も大人も子供も
観光のお客さんも、
わけへだてなく国境も越えて、夏
をエンジョイできたらいいと思つ
ています」

カレン・ヨハンソン(学生)

「北野フェスティバルのイメージガール
として、各催物のお
手伝いをします。みんなと一緒に
なって楽しめたら最高でしょう」



★有馬温泉大浴

「シェイプ・アップ・インあります」

・日時／8月2日(月) 10 AM ~ 6 PM
・会場／有馬グランドホテル

すでに公募をした25歳以上の女
性百名が参加する。主催は有馬溫
泉觀光協会青年部だが、40歳まで



北野町界隈

の若手によって組織されているだけに、アリリマのカーニバル（今年は7月21・22両日）に開催）や一年から始まつた有馬温泉大学などユニークな発想による催しが多く話題を呼んでいる。

今年は昨年に引き続いての“女性篇”（第一回目は男性のみ）だが、美しくなりたいという女性の熱烈な願いに応えて、ジャズダンス、ヨガ、テニスなどのシェイプアップ教室と温泉とをうまく組み合わせた趣向が受けている。

★有馬湯けむりキャンペーン

期間／8月31日まで
問い合わせ／有馬温泉観光協会事務局
☎ 904-10414



有馬温泉大学／太極拳

7月20日に有馬温泉の新しいシンボル“湯けむり広場”が神鉄有

施設や町づくりに“声”を反映させようというもの。
最終日には解答者全員を対象に抽選を行い、ボラライドカメラ、ウォーケマン、スクーターなどをプレゼントする。

なお湯けむり広場には新谷英子作の「茶人大閑像」が設置された。

★有馬観光盆おどり

・日時／8月14・15・16
7 P.M. ~ 10 P.M.
・会場／有馬小学校
・問い合わせ／有馬温泉観光協会青年部事務局
☎ 904-10391

夏の終わりを締めくくる盆おどり大会。地元有馬の人と観光客との心が通い合う和やかな催しだ。
△夏の演出者⑤▽

弓削 敏行 ▽有馬温泉観光協会青年部運営顧問

弓削さんは青年部の前リーダー。青年らしい斬新な発想と活発な行動力で、明日の有馬の町を大きくと積極的に取り組んでいる

有馬温泉駅の近くに完成したが、これを記念して7月17日から今月末まで行っている。

有馬温泉の各旅館・ホテルに宿泊された方全員を対象としてアンケートをお願いし、今後の有馬の



同／念仏寺での講話



楽しい紙ヒコーキ大会

六甲

★たまには優雅に紙ヒコーキ大会
・日時／8月8日 1 P.M. ~ 場所／六甲山カントリーハウス野外ステージ前及び大芝生
入園料／大人3,000円、小人1,500円、
合せ／六甲山カントリーハウス☎ 891-10366

というのではなく、腰を落ち着けて有馬の町を楽しんで貰える町づくりが必要です。そのために我々は何をするべきのかを考えたとき、お客様の“声”を聞くこと、若い層へのアピールが、ます大切。今後もイベントを打って行きます」と意欲満々。観光地・有馬の新しい可能性を模索しつつ魅力ある町づくりをめざしている。

のなかをどこまでも飛んでゆく。

飛行距離レース、滞在時間レース上位者に賞品がでるほか、全員に参加賞。ホワイトウイングス事務局が指導してくれる。

★愛LOVEトイレットペーパー

・日時／8月14日1P.M.・場所／六甲山カツツリーガウス野外ステージ・入園料／右に同じ・問い合わせ／右に同じ

チヤレンジ・カンツリー・ギネス

のNO.2、今回は愉快なトイレットペーパーマキマキレース、ペーパー巻き移しレース、ペーパー遠投競技など。なんと、ペーパー遠投は前回850cmという記録が出ている。さあ、この記録を破るのはあなたかも知れない。

★六甲山牧場でスイスフェア

・日時／7月17日～8月16日9AM～6PM
・場所／六甲山牧場・入場料／大人200円 小人100円・問い合わせ／神戸市立六甲山牧場☎891-0280

音楽祭や子供祭のあつた牧場でスイスフェアが開かれている。スイス観光のパネルや、アルペンホ



六甲山牧場

ルン、カウベルなどの民芸品が展示され、民芸品は即売される。また乳製品等の物産品も販売する。同時に写生、写真コンクールも開催され、優秀作は白い異人館や市民ギャラリーに展示される予定。

△夏の演出者⑥▽

中村 直彦



△神戸市立六甲山牧場長▽

六甲山牧場は、十

年がかりの計画で、さらに大規模で楽しいものになろうとしている。スベースが広がるとともに、製造工程を見学できる自家製手造りのバターチーズの販売なども予定。仕事盛りの場長は「今回の催しの他にも色々な企画をし、みんなに愛される神戸のスイスのような牧場にしたい」と意欲満々だ。



★酒蔵写真コンテスト

・日時／8月6・7日受付10AM～2PM
・場所／魚崎郷周辺（受付は西浜公園）問
い合せ／山邑酒造☎411-12101 豊澤
451-1414

ミナト神戸、ファッショントリニティのもう一つの顔は、全国の特級酒の60%、一級酒の47%を出荷する灘の酒どころである。灘五郷での酒づくりの歴史は古

く、酒蔵の独特の佇まいは左党ならずとも興味をそそられるが、この

酒蔵を背景にしてのスケッチ大会

写真撮影大会が灘御影魚崎郷酒蔵

南側は舗道をモザイクの石畳で整備され、酒蔵の伝統的建築の風情

家主催で行われる。阪神魚崎駅とよくマッチして見事な景観であ

る。当日の受付にて募集要項が配

付されるが、佳作には賞品も進呈される。小雨決行。

△夏の演出者⑦▽



豊澤 誠△豊澤酒造株式会社社長▽

「灘では従来から10月1日の酒の日にちなんだオリエンテリング、2月の蔵びらきなどを催して日本酒への理解を深めていた

だけよう努めています。今回の企画も神戸の代表的地場産業である灘の酒を多くの方に認識していただきたいという狙いで打ち出され



古い歴史をもつ灘五郷

たもので、多くの方の参加を願っています」

★冷酒の喫き酒大会

・日時／期間中毎週土・日・会場／沢の鶴資料館・問い合わせ／沢の鶴資料館 451-114

灘の生一本を冷酒でサービス。

お酒に縁の深い丹波・立杭焼の展示即売も行なわれる。期間中は沢の鶴資料館は無休で公開

白鶴酒造資料館（☎ 841-4105）

菊正宗酒造記念館

（☎ 851-0001）

も期間中特別公開。



★第64回全国高校野球選手権大会

・日時／8月7日（14日間）・会場／阪神甲子園球場・主催／日本高校野球連盟、朝日新聞社

夏の風物詩となつた高校野球。

今年の参加校は3400を数え、代表49校が、深紅の優勝旗を目指して熱戦を繰り広げる。白球を追

う球児たち、女子高生たちの応援合戦、汗と涙の感動のドラマが甲子園球場の夏。

この夏の高校野球は、大正4年に豊中運動場で全国中等学校野球大会が開かれたのが始まりで、この時の予選に参加した高校チーム

△日本高校野球連盟評議員・県高校野球連盟審判委員長▽

三輪 武



「高校野球は教育の一環です」と強調する三輪さん、昭和26年、関西学院大学野球部時代から、県大会の審判を続け、「全国大会」も今年で21年を迎えるという大ベテラン。春夏の大会だけでなく、全国各地の審判員の指導もひとつの活動。「野球を通じて子供たちを育てるのが高校野球の基本。つまり甲子園に出場するチームだけでなく、全国3400校すべてが同じ高校野球の本当の姿で活動しなければなりません。そこでは全

の数は71。以来大正7年と戦時下の5年間を除いて毎年夏に開かれ今年、第64回を迎える。

△夏の演出者⑧▽



熱戦がくりひろけられる甲子園球場



★須磨歴史散歩

・日時／8月8日（日）14PM（雨天変更）・集合場所／山陽電鉄須磨公園駅・コース／須磨浦公園駅→教盛塚→源平戦の碑→安徳帝宮→須磨寺→須磨の関守→網敷天神→松風雨堂→山陽電鉄月見山駅・問い合わせ／神戸市長田局区内山陽電鉄事業課「歴史散歩」係（☎ 612-12143）

特にこの夏皆様に、一時神戸の歴史に触れ、古き良き神戸を知つていただこうという企画。真夏の昼下がり、あなたも歴史のタイムトンネルをくぐつみてはいかが？当日は御影高校教諭の田辺先生が同行される。

国 の 審 判 員 が 重 要 な 役 割 を 索 し て い ま す」と 話 す。さ ら に 「高 校 野 球 が 人 気 を 呼 び、 関 心 を 集 め て い る が、 ヒーロー や アイ ドル、 英 雄 抜 い し る の は い け ま せ ん。 見 る 人 に、 周 围 も 正 し い 見 方 を し て 欲 し い」と 話 す。この 審 判 員 は すべて 奉 仕 活 動 で あ る。そ し て 「本 番 前」 に は 酒 を 断 ち、 体 調 を 整 え て 舞 台 に 臨 む。 大 変 な こ と だ が、「若 さ と 情 热 の 感 動 を、 審 判 員 は 一 番 身 近 か に 味 わ っ て い ま す。 お か げ で 肉 体 的 に も 精 神 的 に も 若 さ を 保 つこ と が で き る み た い で す」

△夏の演出者⑨▽

田辺 真人

（兵庫県立御影高校教諭 著書に「歴史の須磨」他）



「須磨は全国的に通用する歴史をもつ土地です。平安の歌人も江戸の文化人も須磨をによく愛してきました。自然美以外に歴史的奥行きをもつこの地を皆さんに改めて見つめて欲しいと思います」

★親子つり大会

期間／7月21日～8月16日の毎土曜日・場所／海づり公園（山陽須磨浦公園駅下車）・問い合わせ／神戸市海浜管理協会☎735-12908（火曜定休）

今年で4回目の夏休み親子つり大会も皆様におなじみとなつた。

親子ペアで申し込み、ファミリーアイ協力して釣りを楽しむのも面白い。

スズキ賞やカレイ賞、チヌ賞、アブラメ賞等沢山の賞を用意している。入口付近に小さな砂浜も出来ており、子供達の海水浴に格好。

△夏の演出者⑩▽

黒沢 弘

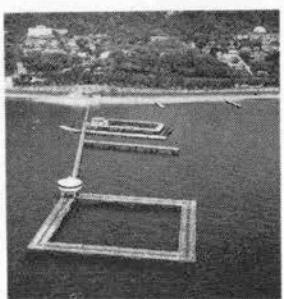
（財）神戸市海浜監理課係長▽

「去年の大会には毎



回300組程の申し込みがあり、大阪や京都からも大勢来られました。御家族の交流の場として特に利用いただけたら幸いです。釣りはもうひとつという方も海側から一度須磨の風景を眺めにいらして下さい。

釣りに限らず、この海づり公園を皆様のアイディアで多目的に利用して下さい」



海づり公園

★花火大会

・日時／8月1日（日）・場所／ポートターミナル周辺・問い合わせ／神戸市港湾局☎331-8181

今年の花火大会が、

今年も、ミナト神戸の夜空をあざやかに彩る。ボートターミナル東の海上に設置された5隻の台船上からの打上げ花火約500発、仕掛け花火5基などスカッと圧巻!!

★納涼神戸港めぐり

・日時／8月6日（金）7日（土）13日（金）14日（土）15日（日）20日（金）21日（土）22日（日）6・30 PM～8：00 PM・場所／中央埠頭ボートタワー前・料金／大人3,800円 小人1,900円・問い合わせ／神戸観光汽船☎391-1863

この夏、汐風にのってエトランゼ気分。宝石箱の中を覗き込むようなビューティーナイト。メリヘン

の世界を満喫できる。それも動くビヤーガーデンで……。タンゴとハワイアン音楽のロマンチックチムードの中で、ゆったりくつろぎながら、ふだん見ることのできないサマーコース、一千万ドルの夜景を手に、ミナト神戸の詩情香る遊覧船のデッキで乾杯——気分は最高!



ハーバーナイト／遊覧船「ゆうかり」

△夏の演出者⑪▽

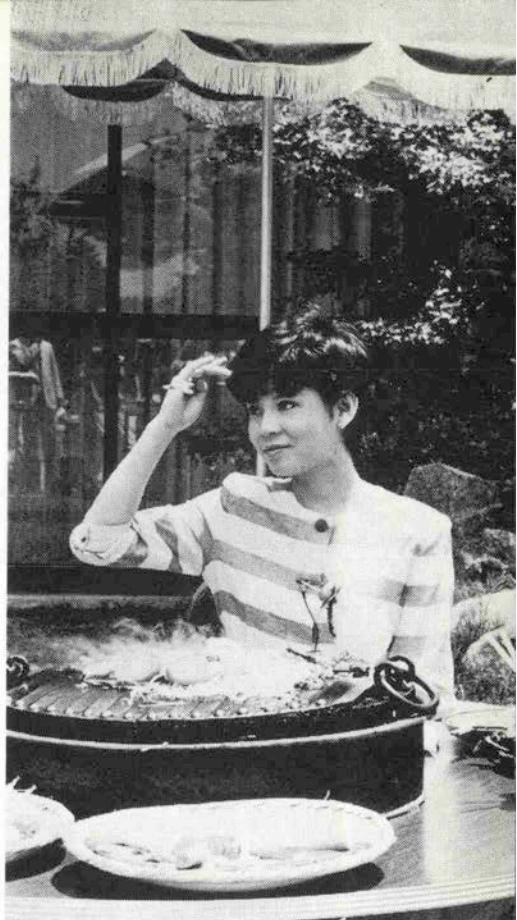
角本 稔

（神戸観光汽船船長▽）



「本日は、ご乗船くださいました……」突然拍手が湧いておこる。23年間この仕事を続けていた。時事と流行の言葉、軽い洒落を織り混ぜながらの港めぐりのガイドはなかなかのもの。

の。かつて歌声喫茶で鍛えた喉でマイク片手に解説する。決して軽くはない、むしろ口べた、素人ぽい一生懸命な感じが乗客に受けている。広島生まれ、代々船の仕事を19歳まではシンフォニーの指揮者に憧れていた。「港から見る神戸の町の夜景は抜群、「色つきの神戸」を見ていただきたいですね」



★六甲山は“西の軽井沢”

六甲山は、神戸市の市街地の背後に、東西56キロにわたり連なっています。瀬戸内海国立公園にも指定されている六甲連山は、とりわけ夏のシーズンには、西の軽井沢と称されるほど多くの人たちで賑わいます。

六甲山の魅力を味わうには、やはり、麓から歩いて登ることです。しかし、市街地から山上まで、クルマだと30分足らずで行けるということも魅力の一つとなっています。阪急電車六甲駅から表六甲ドライブウェイを登りつめると丁字ヶ辻に出ます。左（西）へ道をとると、六甲山牧場から摩耶山へ、右（東）へは、記念碑台、カンツリーハウス、十国展望台、高山植物園、神戸ゴルフ俱楽部と、いわゆる“六甲銀座”がつづきます。記念碑台は、六甲山の開祖といわれるイギリス人、A・H・グレーム氏の功績を顕彰したもので、ここには兵庫県六甲山自然保護センターがあり、六甲山の歴史や自然が一目で分かるようになっています。

六甲山上には、レジャー施設も完備していますが、もう一つ、六甲山名物にジンギスカン料理があります。山上に点在するホテルやレストランには必ずといっていいほどにジンギスカン料理のメニューがあります。六甲山

市街地よりも10度ほど気温が低く、さわやかそのもの。素晴らしい眺望とジンギスカン料理、これは六甲山でしか味わえない醍醐味といえるでしょう。

丁字ヶ辻から東へクルマで数分のところに六甲山ホテルがあります。この日はたまたま関西テレビの録画撮影が行われるということだったので、のぞいてみることになりました。番組は「いらっしゃい兵庫、ワンドフル六甲」。出演は神戸出身の女優、相原友子さん。友子ちゃんがレポーターになって、六甲山上の観光ポイントを紹介して回るという構成です。

六甲山ホテルではジンギスカン料理を楽しむ場面を撮影のことと、さて、友子ちゃんのお相手は誰か、と思つてみると、何と坂井時忠兵庫県知事が、にこやかに現われました。

★坂井知事と友子ちゃんの楽しいひととき

この日の知事さんは、いかにも夏の六甲山にふさわしく、薄いベージュのスーツ。元来、おしゃれな知事さんですが、可愛い友子ちゃんを意識して（？）のことかも分りません。「やあ、いらっしゃい、友子ちゃん」と、知事さんは、つい今まで会議があつたとは思えぬほど、快活な様子。相原さんは、神戸の北野町の出身ですが、

●

さわやかルポ

六甲山上に うまいものあり

相原友子の六甲山納涼めぐり



写真右・六甲山についての話がはずむ坂井時忠兵庫県知事と相原友子さん（六甲山ホテルのチャペル前にて）。写真左・いよいよ本番スタート。一瞬、緊張がみなぎります。



「六甲山は夏でもスキーができるんですよ、友子ちゃん」
 「エッ、ホントウですか！」
 「それに、ゴルフ。乗馬もできる。遊園地もあり、子供づれでスポーツを楽しむこともできますよ」
 「本当に兵庫県にはいいところがありますねえ」
 「クルマでなら本当に近いですよ」

撮影隊に取り巻かれながらも、知事さんと友子ちゃんの話はつづきます。「ホラ、ホラ、お肉が焼けていますよ、友子ちゃん」と、知事さん。「みなさんも一緒に食べませんか」と撮影隊の一行にも声がかかります。

超多忙のあい間を縫っての六甲山行き。それも撮影のためとあっては、ゆっくりと寛げない“気の毒”な知事さん。でも細やかな心配りだけは忘れていらっしゃらないようです。

夏の六甲山。さあ、あなたも、六甲山の“味”を楽しみに出掛けでみませんか！

仕事は東京なので、六甲山を訪れたのは七、八年ぶりだとのことです。
 「知事さんは、よく六甲山へ来られるのですか？」
 「いや、友子ちゃん、それが忙しくて、仲々来れないんですよ。でも涼しいでしょう、六甲山は。夏でもウグイスの声が聞こえる。アジサイも美しい。六甲山でないとこれほどのいろいろどりは出ないんですよ。じや、ジユーツという音で、伊勢エビや貝柱、肉や野菜がとても美味しいように焼けて行きます。それとともに、ふたりの話もはずみます。

「まず、乾杯しましようか」。ワイングラスが触れ合います。

